

令和2年火災統計（概要版）

火災の発生状況

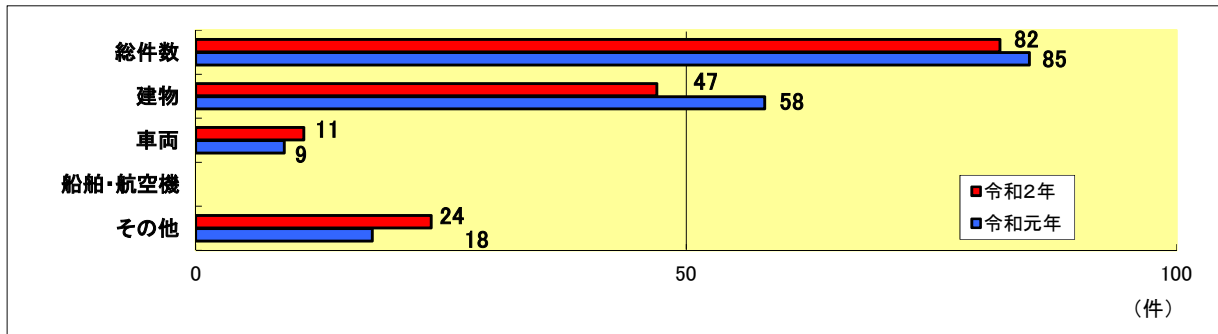
- 令和2年の火災件数は82件で、焼損床面積は1,015㎡、損害額は81,517千円、死者4名、負傷者17名となりました。

令和2年	
件数	82件
焼損床面積	1,015㎡
損害額	81,517千円
死者	4名
負傷者	17名

令和元年	
件数	85件
焼損床面積	1,533㎡
損害額	127,619千円
死者	3名
負傷者	22名

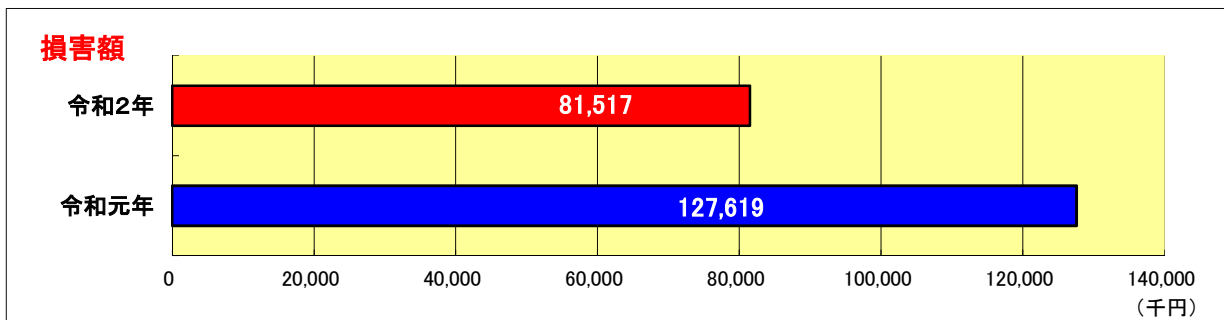
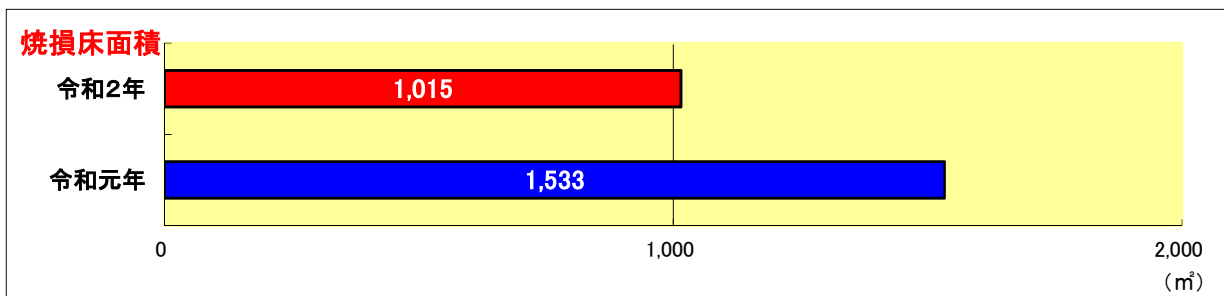
出火件数

- 出火件数は、前年の85件から3件減少し、82件となりました。
- 火災種別ごとでは「建物火災」が47件で11件減少、「車両火災」が11件で2件増加、「船舶火災」、「航空機火災」は共に0件で、「その他火災」が24件で6件増加しました。



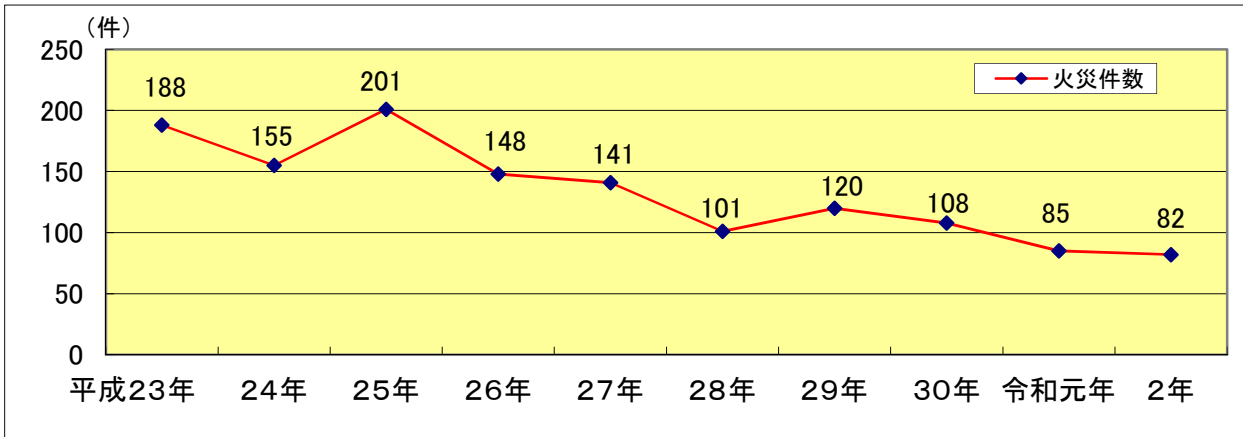
焼損床面積及び損害額

- 焼損床面積は、前年の1,533㎡から518㎡減少の1,015㎡、損害額は前年の127,619千円から46,102千円減少の81,517千円となりました。



火災件数の推移

- 令和2年は82件で、前年より3件の減少となりました。
- 平成23年からの過去10年間の平均は132.9件です。

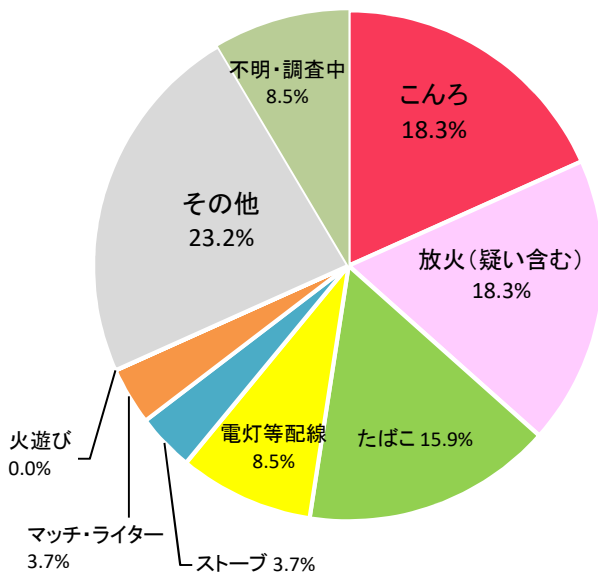


出火原因

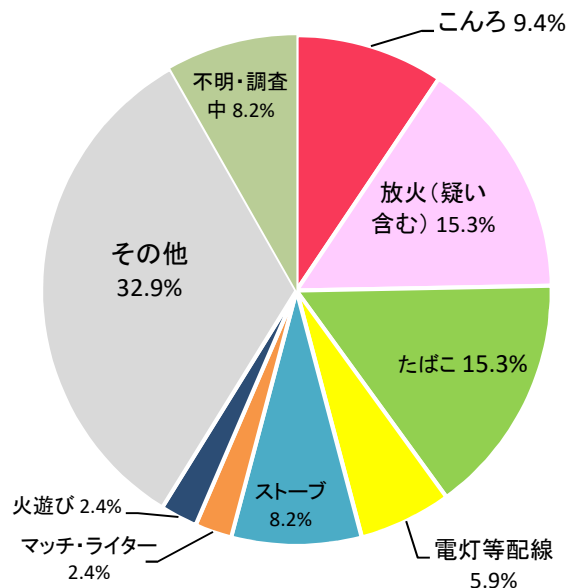
- 主な出火原因をみると、1位は「こんろ」と「放火（疑い含む）」が同数となっています。「こんろ」は15件で7件の増加、「放火（疑い含む）」は15件で2件の増加となっています。3位は「たばこ」で前年と同数となっています。
- 各出火原因の全体に占める割合は、上位から「こんろ」と「放火（疑い含む）」、「たばこ」となり、件数は43件で割合は、52.4%となっています。

区分	令和2年	令和元年
こんろ	15件	8件
放火(疑い含む)	15件	13件
たばこ	13件	13件
電灯等配線	7件	5件
ストーブ	3件	7件
マッチ・ライター	3件	2件
火遊び	0件	2件
その他	19件	28件
不明・調査中	7件	7件
合計	82件	85件

令和2年



令和元年



※四捨五入しており、100%にならない場合があります。

住宅火災の出火原因

- 住宅やアパート・マンションなど住宅火災全体の件数は29件で、前年の30件から1件の減少となっています。
- 令和2年の総火災件数82件に占める住宅火災の割合は、35.4%となっています。
- 住宅火災における出火原因の主なものとして、「こんろ」、「たばこ」、「電灯等配線」となり、その原因の住宅火災全体を占める割合は62.1%となっています。

建物別	年別	計	放火（疑い含む）	たばこ	こんろ	火遊び	マッチ・ライター	ストーブ	電灯等配線	その他	不明・調査中
一般住宅	令和2年	10	1	1	1		1	1	1	4	
	令和元年	16	1	6	3			3	1	2	
併用住宅	令和2年										
	令和元年										
共同住宅	令和2年	19	2	3	8				2	1	3
	令和元年	14		2	2			3	2	4	1
合計	令和2年	29	3	4	9		1	1	3	5	3
	令和元年	30	1	8	5			6	3	6	1